

シフトワーカーが抱える睡眠課題の解決に向け、 キリンビール工場で「睡眠改善プログラム」のテスト展開を実施

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、3 交替勤務で働く工場従業員の睡眠課題解決に向けて、株式会社ユーフォリア（代表取締役／共同創業者 橋口 寛・宮田 誠、以下、ユーフォリア社）が法人企業向けに展開する健康経営支援サービスの一つである「睡眠改善プログラム」をキリンビールの工場で6月24日（月）以降、約1カ月間テスト展開を実施します。

ユーフォリア社は、キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方健志）が2023年10月にCVCファンド「KIRIN HEALTH INNOVATION FUND（キリン ヘルス イノベーション ファンド）」^{※1}を通じて出資した、アスリート・スポーツチーム向けにコンディション管理クラウドを開発するスポーツテック企業です。同社は、トップアスリートのパフォーマンス向上支援を通じて得た科学的知見を応用し、働く人の健康・安全管理を支援する「ONE TAP SPORTS for Biz（ワンタップスポーツフォービズ）」（<https://eu-phoria.jp/service/wellness>）も展開しています。

交替制勤務は不眠や眠気、睡眠休養感の低下などの睡眠に関連する症状の発症とともに、仕事効率の低下や勤務中や通勤中の事故や怪我などの関連が報告されています^{※2}。安全な職場づくりに向けて健康課題を解決するため、今回ユーフォリア社がこれまでアスリートに向けて提供してきた睡眠改善サポートを応用したプログラムを実施し、従業員の睡眠習慣や睡眠休養感をサポートします。

※1 キリンホールディングス株式会社と独立系ベンチャーキャピタル大手のグローバル・ブレイン株式会社が共同で設立したコーポレートベンチャーキャピタル

※2 厚生労働省 健康づくりのための睡眠ガイド2023 就業形態（交替制勤務）と睡眠の課題について

■テスト展開について

(1)実施日：2024年6月24日（月）～7月末（予定）

(2)対象者：キリンビール 岡山工場、神戸工場に勤務する3 交替勤務社員 各数名

(3)内容：

①睡眠セミナーの実施

睡眠の専門家による、不調予防・パフォーマンスアップのための睡眠セミナーをオンラインで開催し、睡眠とパフォーマンスの関係性についての理解を深めるとともに、睡眠の質を高めるための生活習慣を学びます。

②現在の睡眠状態の可視化

アンケート形式で社員が自身の睡眠について評価し睡眠の質を数値化します。

③メガネ型デバイス「ルーチェグラス」の使用

睡眠習慣の改善、睡眠休養感をサポートするメガネ型デバイス「ルーチェグラス」を従業員に貸し与え、入社時に一定時間の着用を促すことで生活習慣改善をサポートします。

■ルーチェグラスについて

ルーチェグラスは、電制コムテック株式会社（代表取締役 田上寛）が開発する、ウェアラブル型の高照度光照射装置です。ルーチェグラスはメガネのようにかけて使用できるため照射中の自由度が高く、手軽に「模擬太陽光^{※3}」を浴びることが可能です。大学との共同研究で生まれたルーチェグラスは、室蘭工業大学と北海道大学で行った臨床研究の結果、爽やかな朝を迎える有用性が認められています。ユーフォリア社はスポーツチーム・企業へ販売を行う唯一の代理店となっています。

※3 実際の太陽光と同じレベルの光を体感できるわけではありません。



ルーチェグラス使用イメージ

■光と生活リズムについて

一般的に人はしっかり日光を浴びると、体内時計がリセットされ、生活リズムを整えることにつながります。

（電制コムテック：睡眠指導士上級 田上さやか）

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

※添付資料「ユーフォリア社」について・・・1 枚

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>

●ユーフォリア社について

ユーフォリア社は、主力事業であるスポーツ選手のコンディション^{※4}管理、ケガ予防のための SaaS 型データマネジメントシステム「ONE TAP SPORTS (ワンタップスポーツ)」 (<https://one-tap.jp>) の開発・提供を通してアスリートのコンディションなど、さまざまな情報を「見える化」し、コンディション管理・ピーキング・ケガ予防をサポートしています。本システムは、現在、ラグビー日本代表をはじめ日本代表では 26 競技、プロチームを中心に国内外で 71 競技、合計 1,700 以上のチーム^{※5}に導入されています。また、スクール運営の DX プラットフォーム「Sgrum (スグラム)」 (<https://sgrum.com>) の開発・提供、さらに、これまでスポーツ界で培ってきたノウハウを生かし、一般企業のビジネス課題の解決を行う「ONE TAP SPORTS for Biz (ワンタップスポーツフォービズ)」 (<https://eu-phoria.jp/service/wellness>) も展開しています。

※4 アスリートがよいコンディションを保ち、試合に合わせてピークパフォーマンスを発揮するために行う一連の活動

※5 2023 年 12 月時点

